

逗子小だより

2025年1月28日(火)No.10

逗子市立 逗子小学校

逗子市逗子 4-2-45

046-873-2050

校長 萩山 英廷

ホームページ URL <https://www.city-zushi.ed.jp/e-zushi/>

ホームページ QRコード



卒業、進級に向けて、一日一日を大切に過ごしていきましょう

1月8日(水)から2025年の学校生活が始まりました。子どもたちが心身ともに健やかに充実した学校生活を送れるよう、職員一同、力を尽くして参りますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。8日(水)には、オンラインで朝会を行い、校長より全校児童に下のように話(抜粋)をしました。

今年の干支は「巳」つまり「へび」の年です。蛇は成長するために脱皮を繰り返しますので、新しい自分に生まれ変わり、次のステージへ進むシンボルとされているので、巳年には、「成長」や「変化」、「再生」という良い意味も込められているそうです。皆さんも、4月からそれぞれ進級して、あるいは進学して新しいステージに上ります。色々な成長や変化を楽しめる一年にしてほしいと思っています。小さな変化が、やがて大きな成長につながることを期待しています。今の学年で過ごすのは、3ヶ月です。3ヶ月と言っても、6年生は卒業式まで、今日を含めて48日間。1年生から5年生までは修了式まで51日間。あっという間です。今の学年でのやり残しがないう学年のまとめをしっかりと、4月から新しいスタートが切れるようにしてください。

(下の写真は、3・4・5・6年生の書き初めです。)



今年度の授業研究を振り返って

今年度は、研究主題を「友だちとの関わりを通して、ともに学び合う姿をめざして～国語科における言語活動の充実から」として、年間3回、各学年(第1回目は2年・5年、第2回目は1年・6年、第3回目は3年・4年・なかよし)の研究授業を計画し研究を進めてきました。講師として、第1回目(6月28日)には、筑波大附属小学校の青山 由紀先生、第2回目(10月23日)、第3回目(11月29日)には、お茶の水女子大学附属小学校の岡田 博元先生と、文部科学省のICT活用教育アドバイザー 為田 裕行氏をお招きしました。学年の児童の実態に応じた「育てたい力」を明確にし、それを達成できるように言語活動をどのように行えばよいか授業実践をとおして教師同士が学び合いました。その過程で、児童の学習意欲が高まり、主体的・対話的な学びが進展する様子が見られました。これからもこの取り組みを生かし、「深い学び」の具現化を目指し研究を継続していきます。

お知らせとお願い

★まなびポケットでの情報提供を試行していきます

1月24日（金）に、まなびポケットの配信設定変更に伴うアンケートを送信させていただきました。全てのご家庭への送信が可能であると確認した後、2月末に発行する学年だよりからまなびポケットでのファイル添付送信の試行（紙媒体の配付も併用します）をしたいと考えております。試行期間が1か月と短いですが、そこで課題等を洗い出し、来年度よりデータ添付での学年だより等の文書の送信を主軸に情報提供をしていきたいと考えています。

★ご家庭でもお話しく下さい～登下校の仕方～

下校の際、赤信号の横断歩道を渡り、間一髪で事故に至らずに済んだケースなど近隣にお住まいの方から情報をいただいております。各学級にて担任から指導をしているところですが、ご家庭でも、登下校の仕方について、改めてお話しく下さるようお願いいたします。

★2月14日（金）バレンタインデーについてのお願い

2月14日（金）はバレンタインデーですが、本校にチョコレート等を持ってくることの無いようご理解をお願いいたします。

★図書の電算化に伴う背ラベル貼り作業をしていただいています

昨年度、学校支援地域本部の図書ボランティアの皆様の多大なるご尽力により、今年度はじめよりバーコードの読み取りによる本の貸し借りができるようになりました。今年度は、1万冊以上の本の背ラベルを貼る作業をしていただいています。子どもたちが本に親しめるようにと、たくさんの方々からのお力添えをいただいています。

年初めおよび年度のまとめに向けての各学年の取組を紹介します

「昔の遊びを楽しもう」ということで、羽根つきやけん玉、めんこ、こま、お手玉、かるたや百人一首など、級友とともに楽しみました。



いました。

←1年生：いのちの授業。助産師の高野しのぶさんをお招きして「いのち」についての出前授業を実施しました。プライベートゾーンについて学び、身体は自分だけのものでもとても大切だということ、自分や周りの人、友だちの身体を大切にすることを考えました。授業後「小さい卵から大きくなるのがすごい。」と自分のいのちの貴さに気づいた感想を書く児童も

→2年生：凧作りと凧あげ。図工の学習で凧を作り、校庭で凧あげをしました。コピー用紙を折り、自分で好きな絵を描いて、オリジナルの凧を作りました。校庭に出て走り回ると、凧が風になびいて舞い上がり、子どもたちは、とても楽しそうにしていました。



←3年生：「アルティメット体験」講師に本校保護者でもある清水さんと上堀さん（お二方とも世界

大会のメダリスト！）をお招きし、フライングディスクの飛ばし方やキャッチの仕方を教えていただき、最後はミニゲームまで体験出来ました。子どもたちは、「もっとやりたい！」と楽しくてたまらないという様子でした。アルティメットは、審判がいなく、話し合いで試合を進めていくスポーツ。対話を通して合意点を見つけていくプロセスは生活にも活かせそうですね。老若男女問わず、親子でも楽しめるスポーツとのことでした。





→4年生：助産師さん、養護の先生による「いのちの授業」

1月22～24日に「いのちの授業」として助産師の高野しのぶ先生、養護教諭の円道しのぶ先生からお話を聞きました。思春期の体と心の変化、命の誕生、自分の体の守り方と自分らしさを大切にすること、LGBTQについてなど盛りだくさんの内容でした。



体とこころの成長には個人差があるため、お互いを尊重することが大切であるというお話に真剣なまなざしで耳を傾けていました。またこれから来る体の変化に不安を持っていた子もいたようでしたが、「かわいいものではないからね。」という先生の言葉に安心した様子でした。ぜひおうちでも話題にしていだけたらと思います。

5年生：たてわり班活動。今までたてわり班活動を企画・運営してくれた6年生の卒業におけて、5



年生が、どんなことができるか班のみんなに投げかけ、リードしています。21日には、6年生に寄せ書きを書く活動をしました。限られた時間の中で仕上げられるように、1年生から4年生の一人ひとりに声をかけていました。4月からは、たてわり班のリーダーになる5年生を頼もしく感じました。

6年生：「総合的な学習の時間」では、地域を改めて見つめ、もっと楽しく良い逗子になるよう、自分たちにできることを考え、実践していく学習をしています。各クラスの児童の課題設定に合わせて取り組みを進めています。卒業を前に、生活の場である逗子市をより楽しい地域にするための自分なりの考えを伝え合う活動が計画されており、今から楽しみです。



給食費等の口座引き落としについて

給食費・PTA会費について、口座の残高が不足し、引き落としができない場合があります。口座の残高の確認をお願いします。

※今年度の引き落とし日は 2月5日(水)、2月20日(木)、3月5日(水)で終了です。

3月に未納になった場合は学校に現金でお持ちいただく事になりますので、ご注意ください。ご協力をお願い申し上げます。



逗子小学校 学校教育目標

めざす子ども像

元気な子
よく考える子
進んで取り組む子
人との関わりを大切にする子

めざす学校像

子どもの安全・安心が確保されている学校（危機管理）
子ども一人ひとりが大切にされる学校（自己肯定感）
なごやかで思いやりにあふれる学校（温かい人間関係）
自立と共生の基礎を培う文化的な豊かさのある学校（社会への適応）
わかる授業・学びあう授業を展開する学校（学力の保障）
地域に開かれた教育活動を進める学校（連携・信頼）